

HuMA News Letter

活動概要

この1年間、世界では各地に甚大な災害が起き、国内でも各所に豪雨や地震が発生しました。しかしコロナ禍では移動制限があり、思うように現地に行けない状況が続きました。HuMAはこの悪条件を、組織活動の再構築の機会と前向きに捉え、災害時に迅速な行動ができるよう、PWJ主催の災害現場を模した実地訓練に参加し、派遣時の業務プロセスをデジタル化して、次に向けての備えに力を入れました。人員が逼迫した大阪コロナ重症者センターからの要請で看護師の派遣も行いました。

PWJ主催の多機関連携災害時医療救助訓練に参加

ピースウィンズ・ジャパン(PWJ)主催の合同訓練が、広島県の神石高原にて開催されました。大規模災害発生時の救急救助等を、迅速かつ的確に行うための訓練です。HuMAは、医師、看護師、ロジスティクス担当ら5人編成のチームで参加しました。大規模な災害で携帯は通じず、電気も止まっている状態という設定の中、多数の団体が連携し、被災者への支援を行いました。



冷たく強い風の中、診療用のテント設営をおこなう



スペイン語患者とスマホの翻訳を使いながら診察



瓦礫サイトに向かう準備をするHuMA助産師

ミャンマー支援募金活動

～ミャンマーの危険な状況の中で医療活動を行う現地の人々に支援を～



軍による圧力を受けながらもけがをした市民に治療を行う現地医師

ミャンマーでは軍によるクーデター発生後、多くの市民が犠牲になっています。現地医療従事者も拘束されるケースがあり、けがをした市民への治療も行き届いていない状況が続いています。

10月：ご寄付を現地に届けることができました、発熱しても病院に行けなかった人、子供を抱え病院で相談したくてもできなかった人など、たくさんの人に医療を提供することができました。

◆ワンワールドフェスティバル

2月7日～21日にオンラインで開催され、HuMAもブースを出展しました。日本の国際協力活動を活発化し、より充実した活動を展開していくための情報交換の場です。



◆デジタル化の推進

これまで災害派遣で使われていた書類（ExcelやWordなど）を、クラウド型データベースを利用してアプリ化し、スマートフォンで操作できるようにしました。この先進的な取り組みは他のNGO・NPOからも注目されています。



◆連載企画「隊員インタビュー」始まる

* ホームページからご覧になれます



現場に立った医療従事者の想いを伝えたい。そんな気持ちから始まった企画です。5月から始まった連載は大好評。ボランティアで参加したプロのライターによるインタビューは、やはり一味違います。派遣隊員が現地でどんな人や出来事に出会い、そして何を思ったのか。一人ひとりの人生ドラマを伝えています。



2021.10.14	【#4 北野 信之介】	支援を求める人たちのために、知識と経験を積み重ねる
2021.08.12	【#3 山下 公子】	支援活動は柔軟で、いろんな形があっいい
2021.06.08	【#2 宮本 純子】	災害看護の現場と学術研究の場をつなぐ存在に
2021.05.13	【#1 鶴飼 卓】	本当に支援を求めている人たちに、必要な支援を届けたい

◆大阪コロナ重症センターにおける医療従事者派遣事業



コロナ感染拡大に伴い、臨時医療施設として大阪府が立ち上げた「大阪コロナ重症センター」に、HuMAから6人の方を派遣(出向)しました。出向者の方々にはHuMAがZOOMで事前研修「人道支援時の心得」「勤務者のメンタルヘルスケア」「勤務者の感染防御」「人口呼吸器管理」等々を行っています。

会員募集・寄付金のお願い

HuMAでは本会の活動方針に賛同いただける会員・賛助会員及び活動資金の寄付金を随時募集しております。資料請求のお問い合わせ、銀行振込の場合で領収証をご希望の方は、下記事務局までご連絡をいただけますようお願いいたします。

寄付金受付先

[銀行]

みずほ銀行 根津支店 普通預金口座 8010278
特定非営利活動法人 災害人道医療支援会
理事長 前川 和彦

[郵便局]

口座No. 00190-6-569149
口座名: 特定非営利活動法人 災害人道医療支援会

ただいまの会員数413名
・正会員・登録会員295名
・賛助会員118名
(2021年11月末現在)

発行 = 認定特定非営利活動法人 災害人道医療支援会 東京サポートオフィス
〒153-0044 東京都目黒区大橋2-12-9 パレスKY302
TEL/FAX: 03-4291-7363 Email: tso@huma.or.jp